



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第10-①号

学校教育目標「たくましい心と体をもち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

一学期を振り返り、充実した夏休みに！

関東甲信地方も梅雨が明け、本格的な夏到来といったところでしょうか……。換気のために扉や窓を全開にしても体育館はどんよりとした暑い空気に包まれていましたが、子どもたちはしっかりした態度で終業式に臨みました。



さて、68日間（1年生は69日間）の一学期が今日で終了となりました。4月7日の始業式で、東井義雄さんの『心のスイッチ』という詩を紹介し、思い思いに心のスイッチをオンにしたのが、ついこの間のように思えます。そのときの気持ちをしっかり持ち続けることができた子もいれば、途中で何回となくスイッチを入れ直した子もいたことでしょう。しかし、大きな歩み、小さな歩み、立ち止まりながらの歩み、あるいは迷いながらの歩みなど歩幅やかかった時間は異なっても、それぞれに何かしらの前進があったものと信じています。

明日からは、36日間の長い夏休みが始まります。まずは、心のスイッチを再びオンにして、夏休みだからこそその楽しさを存分に味わいつつ、達成感、成就感のもてる夏を過ごしてほしいと願っています。



「学校生活の記録（通信表）」の見方【補足】



1 各教科の“評価の観点”について

各教科の観点が昨年度までとは異なり、これまでの4観点（国語科のみ5観点）から、すべての教科で3観点になりました。これは、今年度から全面实施となった新学習指導要領においてこれからの時代を生き抜く子どもたちに育成すべき資質・能力を3つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）で整理したことによるもので、学習状況もこれに対応した形で評価することになりました。

3つの観定のポイントは次のようになります。

①「知識・技能」

この観点では、各教科で身に付けるべきとされる知識やスキルについて十分に習得しているかを評価します。ただし、一問一答形式で測るような単純な知識や丸暗記による断片的な知識だけでなく、他の教科の知識と結びつけたり、背景やつながりを考えたりする深い理解を伴った、応用できる形で知識や技能が身につけていることが大切になります。

②「思考力・判断力・表現力等」

各教科における課題や問題に向き合って解決していく能力や、仲間と協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力などを評価します。自らの意見や考えを表現したり、各教科の知識や技能を問題解決に向けて有効に使えることも大切になります。

③「主体的に学習に取り組む態度」

これまでの「関心・意欲・態度」に対応するものですが、この観点では、子どもたちが各教科の内容を理解するために試行錯誤しながら粘り強く取り組んだり、学習を自分なりに調整したりしようとしているかを見ます。例えば、教科による多少の違いはありますが、授業のまとめで用いる“ふりかえりシート”にはその授業でわかったことや、課題に対する自分なりの解決策などを記述させ、この観点を見取る材料の一つにしています。

2 技能教科の評価・評定について

音楽、美術、保健体育、技術・家庭の4教科については、本校では前期・後期の二期制で評価します。したがって、前期の評価は二学期中間テスト終了後の10月上旬に、後期の評価は三学期末テスト（2月実施）後に行います。それに伴って『学校生活の記録』には、前期の評価・評定を二学期末に、後期のそれは三学期末に記載してお知らせいたします。

一学期の反省と二学期に向けて

～終業式での各学年代表生徒による発表より～



1年1組 樋口 舞子

「1年1組は給食の準備と片付けがおそすぎる。2、3組はもうとっくに給食食べてるよ」と担任の小西先生から言われた。次の日、時間をもらい、クラスのみみなでどこが問題だったのか、どうすればもっと早く準備することができるのかを話し合うことになった。

まず問題としてあがったのは、自分のことしか考えない人や時計を見ずに行動している人が多いことだった。自分以外の人たちの仕事も手伝い、積極的に周りを見て、その時自分ができるところをやる、そうすれば早く準備ができるということになり、さっそく次の日から取り組みを始めた。取り組み初日、周りを見て行動する人が増え、準備が少し早くなった。話し合った結果があってよかったし、みんなで声をかけ合いながら準備できたのがうれしかった。しかし、次の週には、積極的に行動している人は多いものの、話しながら行っている人がいて、進むペースが再びおそくなってしまった。せっかく話し合ったのに面倒だなというのが正直な気持ちだったが、中途半端には終わらせたくない気持ちもある。みんなの話を聞いてみることにした。

どうすればもう一度早く準備ができるのか、それぞれの係から話を聞いていくと新しい課題がいくつも見えてきた。現在、改善の取り組みを続けているところだが、二学期にはもっとみんなで協力して準備を早くし、全校で一番早く準備ができるようになりたい。先生が指示したことばかりしていると自分たちのクラスがどんなクラスかまいわからないけど、自分たちでやると問題点がわかって自分たちでクラスをよくしていくことができると学ぶことができた。



